

信託商品受容性把握のための基礎調査
調査結果報告書

【教育資金贈与信託】

2018年8月



基本情報

調査方法	インターネット調査
調査目的	「教育資金贈与信託」のニーズを把握する
調査対象者	孫がいる50代～80代の男女
サンプルソース	提携会社インターネットモニター
調査実施期間	2018年6月5日(火)～8日(金)
調査地域	全国
サンプル数	回収数:2,021s
調査主体	株式会社 日経リサーチ

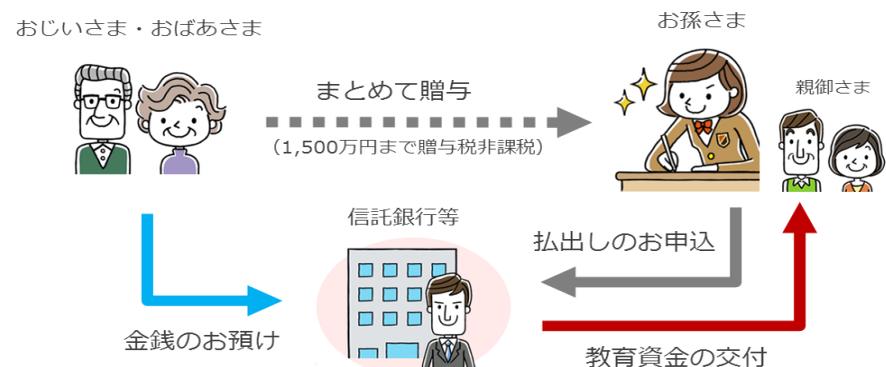
調査時に提示した商品コンセプトは以下のとおりです。

【概要】

- ✓ 教育費のご負担を和らげるため、お孫さまにご資金をまとめて援助することができるサービスです。
- ✓ 具体的には、将来にわたって必要となる教育資金をお孫さまにまとめて贈与し、お孫さま・親御さまは、教育費が必要となった時に引き出すことができます。
- ✓ このサービスを利用すれば1,500万円までは贈与税が非課税となるため*まとめてご資金を贈与することにより、お孫さまの将来的な教育計画を立てやすくなるといったメリットがあります。
- ✓ また、贈与するご資金が確実に教育費としてご利用されるよう、使い道は教育費に限定しています。

* 贈与を受けるお孫さまが30歳未満である必要があります。また、年間の贈与金額が110万円以内である場合、このサービス利用の有無に関わらず、贈与税は非課税となります。

【しくみ】



3. ウェイトについて

既婚者の性別、年代別の割合について、国勢調査(平成27年度)の性別、年代の構成比に合わせウェイト補正を行った。
補正することにより、全国の意見を反映した結果として見る事が可能となる。
報告書内では、回答結果は補正後のスコアを掲載し、回答者数は補正前と補正後の両方を掲載した。

調査回答者データ

	全体	小計	50代	60代	70代	80代
(人)	2,021	984	244	306	239	195
(%)		48.6	12.1	15.1	11.8	9.6
(人)		1,037	274	345	362	56
(%)		51.4	13.6	17.1	17.9	2.8

国勢調査より、50歳以上の既婚者(離死別含む)の割合を男女別に算出

	全体	小計	50代	60代	70代	80代
(人)	50,065,987	22,685,393	6,098,160	7,653,121	5,985,005	2,949,107
(%)		45.3	12.2	15.3	12.0	5.9
(人)		27,380,594	6,866,026	8,645,329	7,164,969	4,704,270
(%)		54.7	13.7	17.3	14.3	9.4

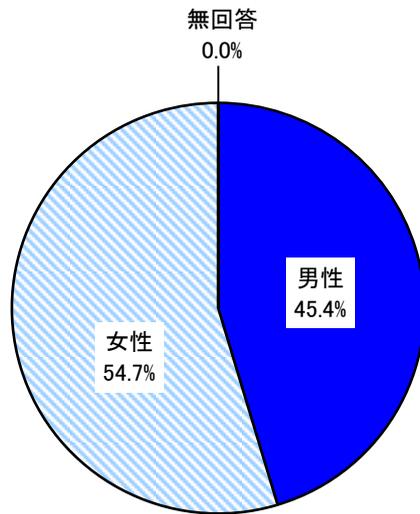
ウェイト補正後の回答者数・割合

	全体	小計	50代	60代	70代	80代
(人)	2,000	907	244	306	239	118
(%)		45.3	12.2	15.3	12.0	5.9
(人)		1,093	274	345	286	188
(%)		54.7	13.7	17.3	14.3	9.4

4. 回答者プロフィール①

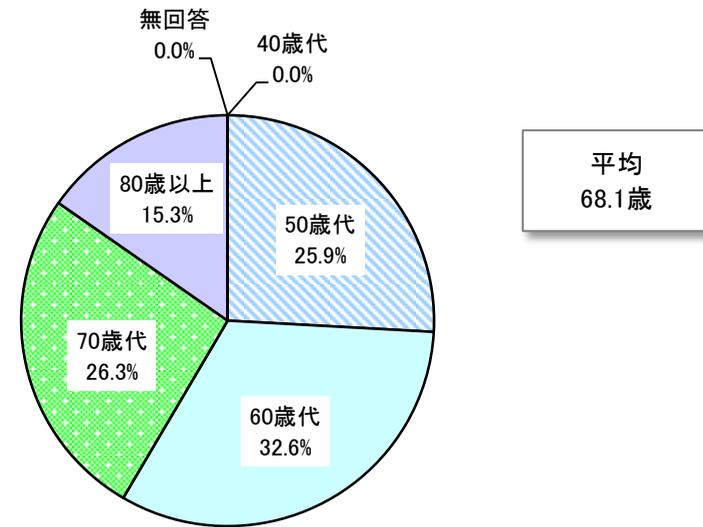
S1. 性別

(N=2021/WN=2000)



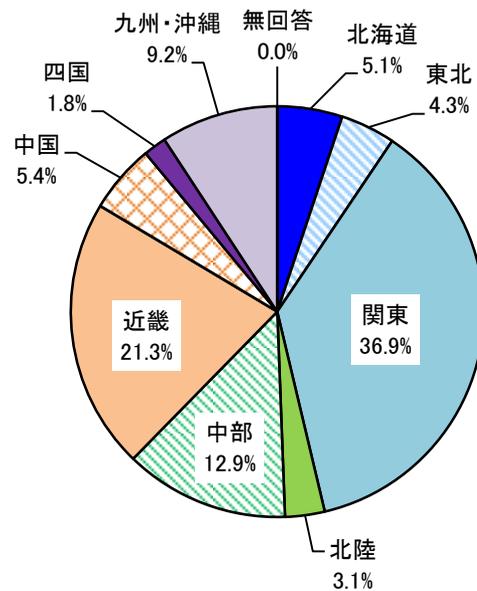
S2. 年齢

(N=2021/WN=2000)



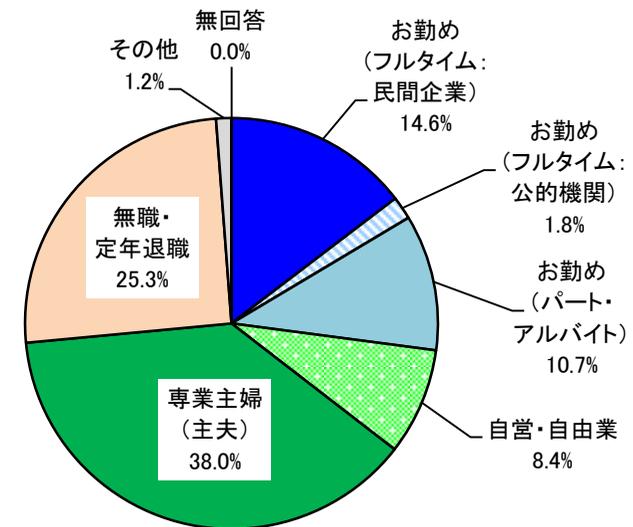
S6. 居住地域

(N=2021/WN=2000)



F1. 職業

(N=2021/WN=2000)

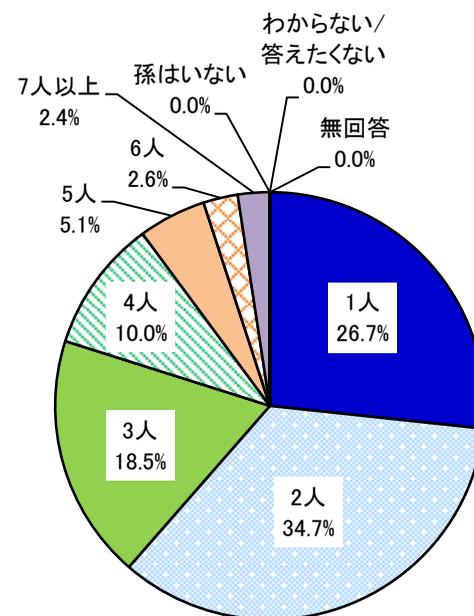


※回答者数は(ウェイトなし/ウェイトあり)、[*]はサンプル数が30未満のため参考値

5. 回答者プロフィール②

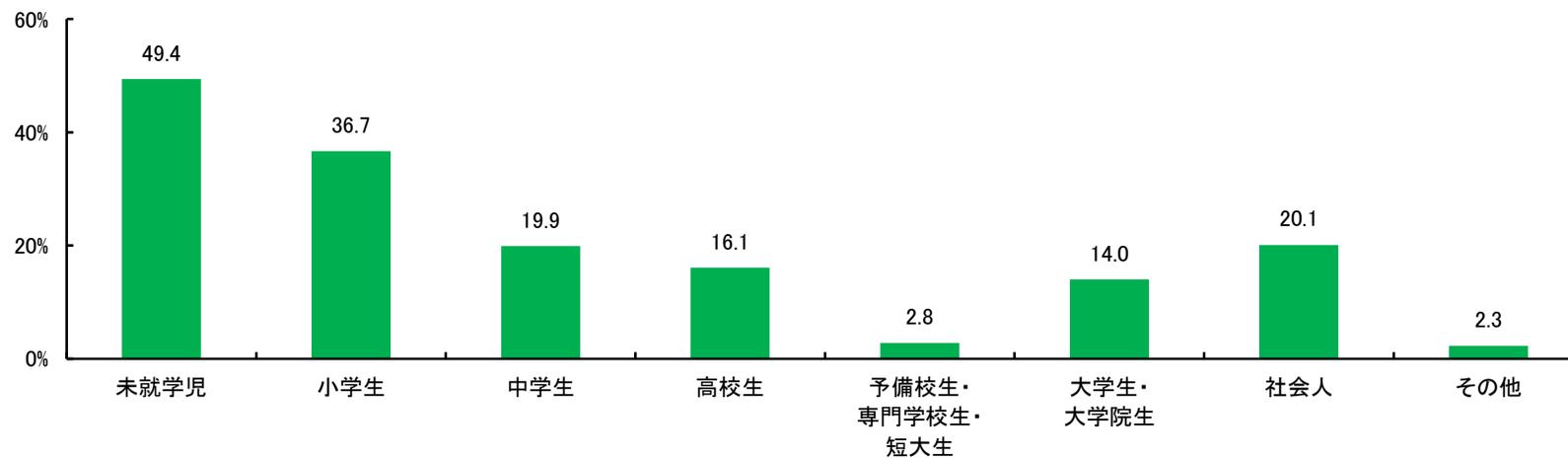
S3. 孫の人数

(N=2021/WN=2000)



S4. 孫の就学状況

(N=2021/WN=2000)

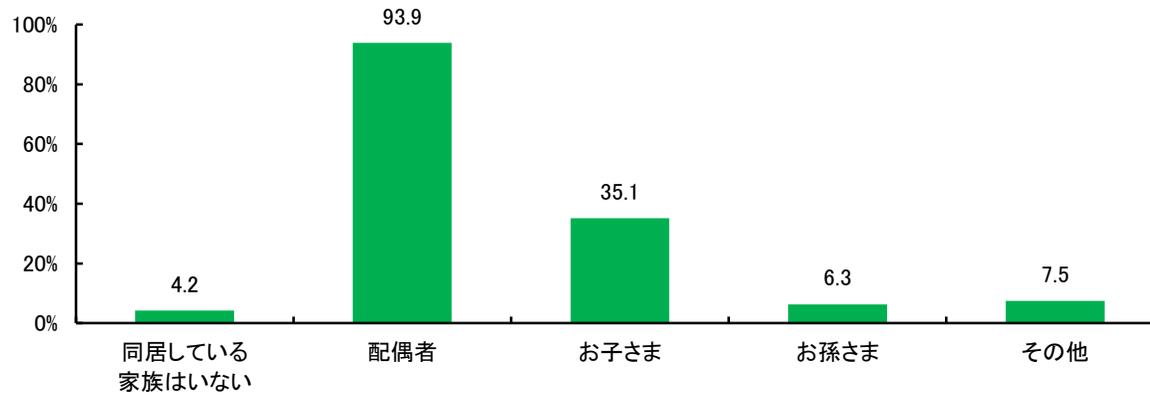


※回答者数は(ウェイトなし/ウェイトあり)、「*」はサンプル数が30未満のため参考値

6. 回答者プロフィール③

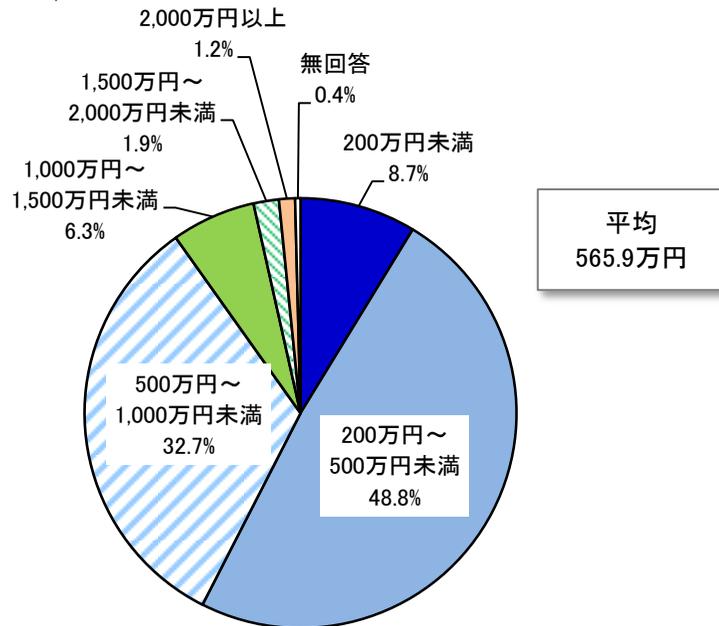
S7. 同居家族

(N=2021/WN=2000)



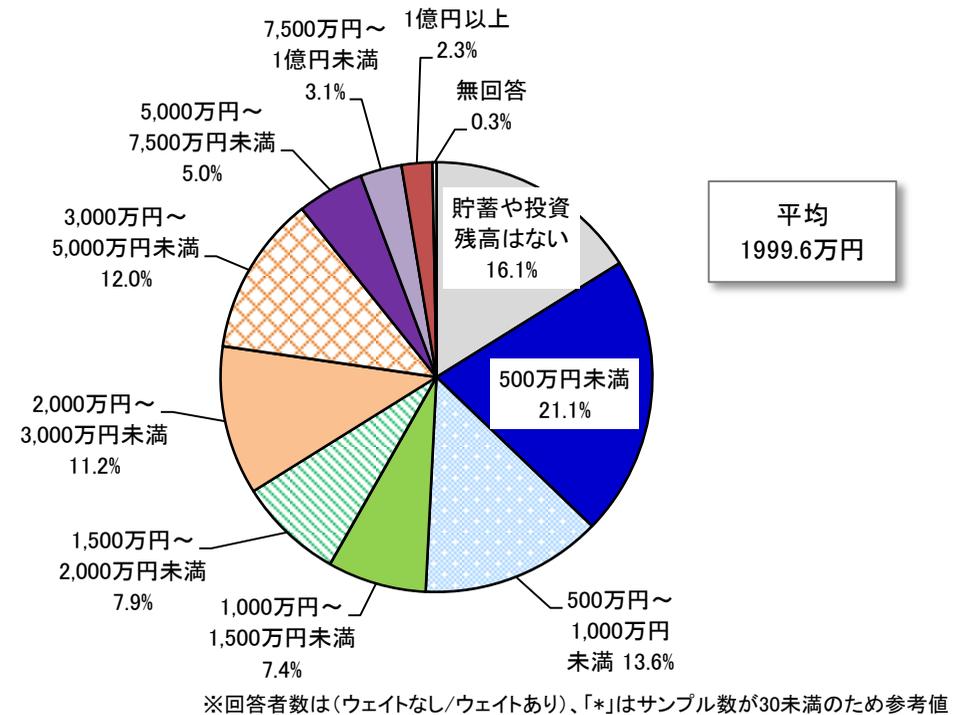
F2. 世帯年収

(N=2021/WN=2000)



F3. 世帯資産残高

(N=2021/WN=2000)

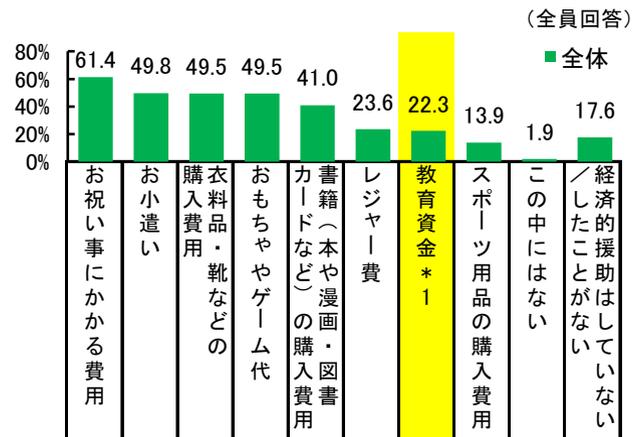


調査結果サマリ

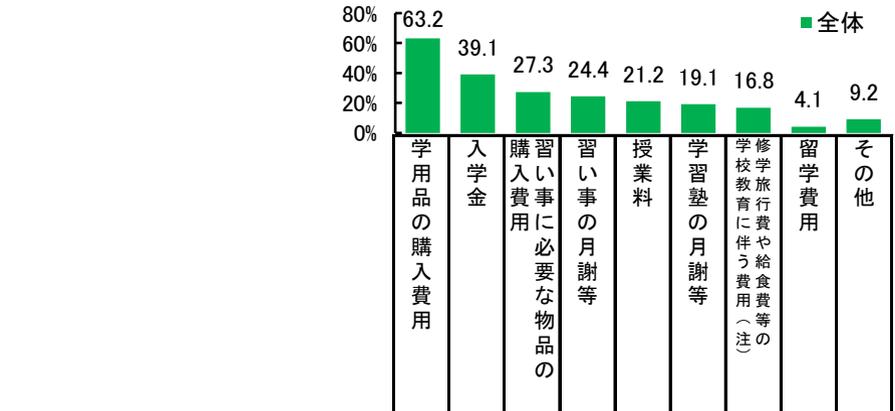
1. 孫への金銭的援助の経験

<経済的援助の経験>

孫に対する経済的援助をみると、「お祝い事にかかる費用」(61%)、「お小遣い」(約50%)が多い。「教育資金」は約2割。援助のタイミングとしては、「小学校に入学された頃」が最多。



<教育資金に対する援助の用途>



全体 (N=2021/WN=2000)		61.4	49.8	49.5	49.5	41.0	23.6	22.3	13.9	1.9	17.6
年代別	50歳代 (n=518/Wn=518)	48.6	32.6	45.9	46.1	31.5	22.6	14.1	7.9	3.7	29.7
	60歳代 (n=651/Wn=651)	65.1	46.2	57.9	60.5	44.7	26.4	20.9	14.9	2.0	13.8
	70歳代 (n=601/Wn=525)	68.6	59.7	49.4	51.1	48.8	24.9	27.1	19.3	1.0	13.5
	80歳以上 (n=251/Wn=306)	62.4	69.5	37.5	29.1	36.1	17.4	30.7	12.7	0.4	12.4

全体 (n=453/Wn=445)		63.2	39.1	27.3	24.4	21.2	19.1	16.8	4.1	9.2
年代別	50歳代 (n=73/Wn=73)	72.6	31.5	31.5	31.5	21.9	16.4	16.4	1.4	9.6
	60歳代 (n=136/Wn=136)	71.3	25.0	29.4	27.2	11.0	18.4	8.8	0.7	9.6
	70歳代 (n=166/Wn=142)	61.8	42.4	28.0	23.8	18.3	21.6	17.9	4.0	7.9
	80歳以上 (n=78/Wn=94)	46.3	60.5	19.7	15.5	39.8	18.4	26.9	11.0	10.4

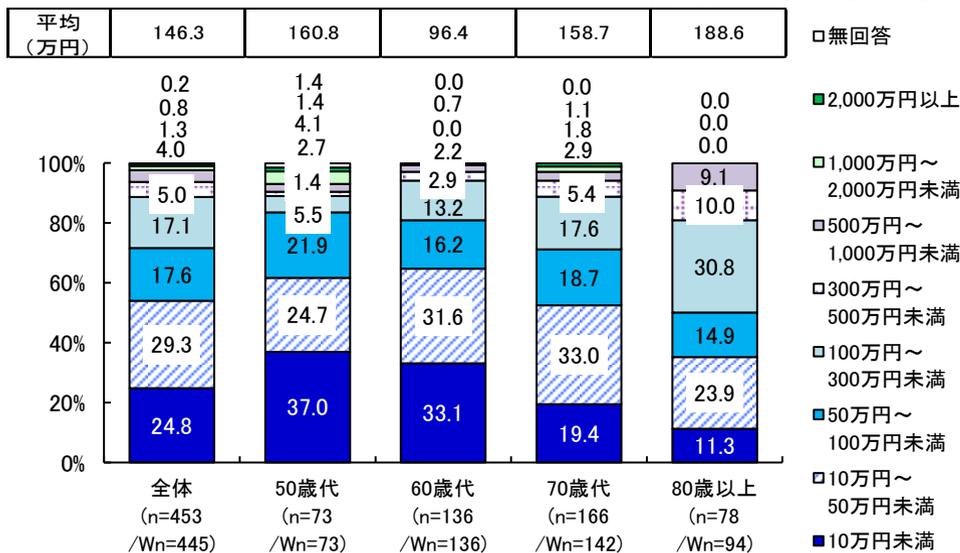
*1:教育資金(学費・学用品の購入費用・習い事の月謝など)

注:入学金・授業料・学用品の購入費用は除く

※は全体値+5p以上、■は全体値-5p以上

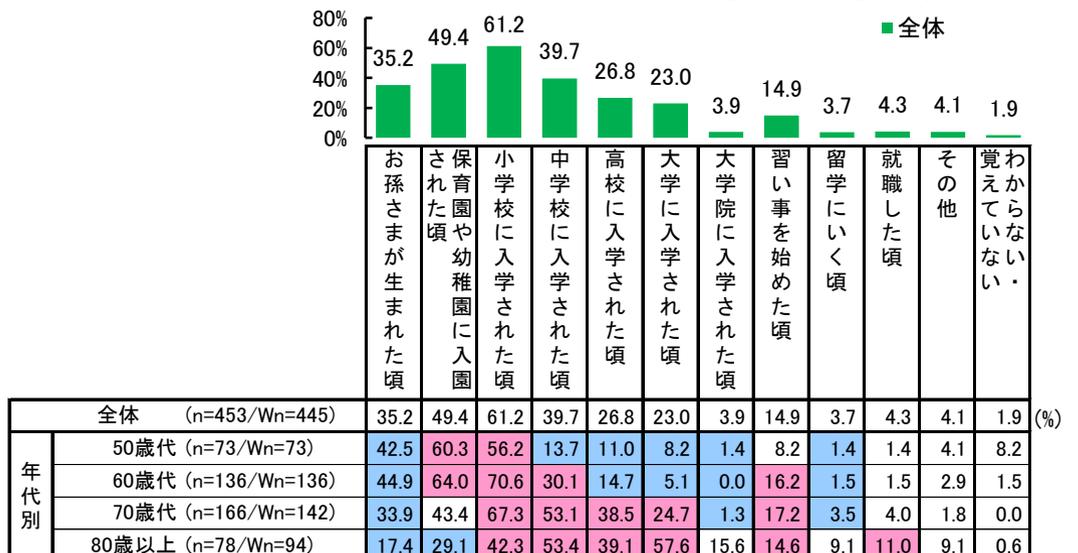
※は全体値+5p以上、■は全体値-5p以上

<教育資金に対する援助の金額>



※回答者数は(ウェイトなし/ウェイトあり)、「*」はサンプル数が30未満のため参考値

<教育資金に対する援助のタイミング>

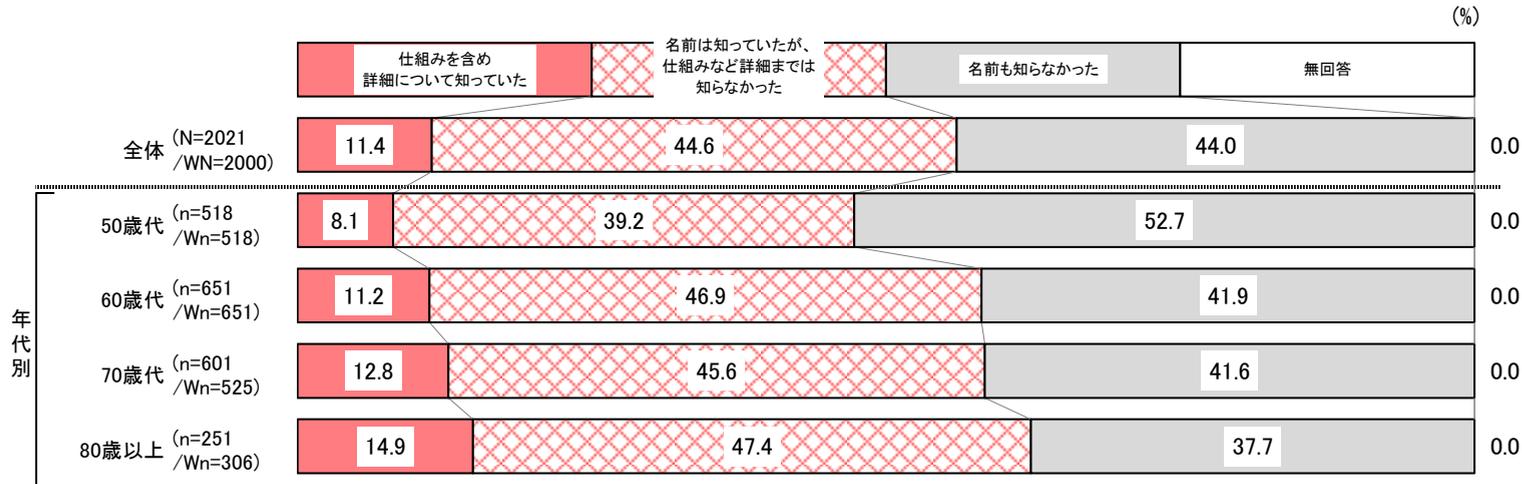


※は全体値+5p以上、■は全体値-5p以上

2. 「教育資金贈与信託」の利用状況および利用意向

<サービスの認知状況>

(全員回答)



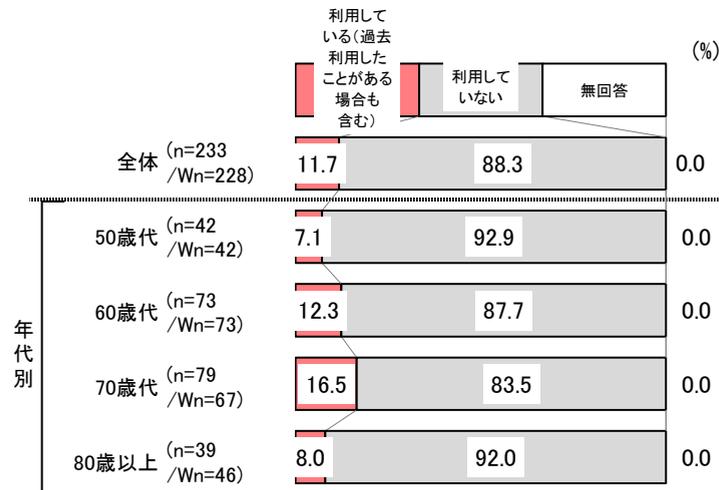
「教育資金贈与信託」の認知度(知っていた計)は56%。回答者年代別では、年代が高いほど認知度が高くなる傾向があり、80歳以上の認知度は6割を超える。

サービスの利用意向は、「50歳代」、「サービスの名前だけ知っていた」層で高くなっており、どちらも「利用してみたい」の割合は3割を超える。

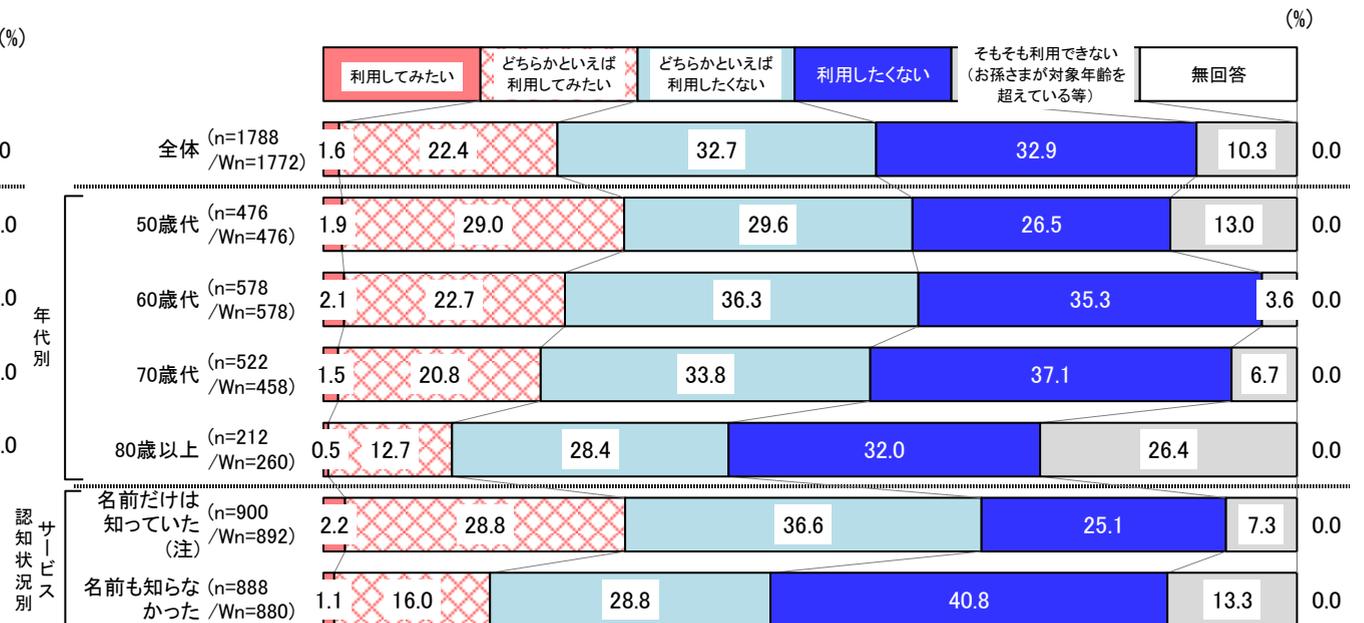
詳細について認知

名前のみ認知or非認知

<サービスの利用状況>



<サービスの利用意向>



※回答者数は(ウェイトなし/ウェイトあり)、*はサンプル数が30未満のため参考値

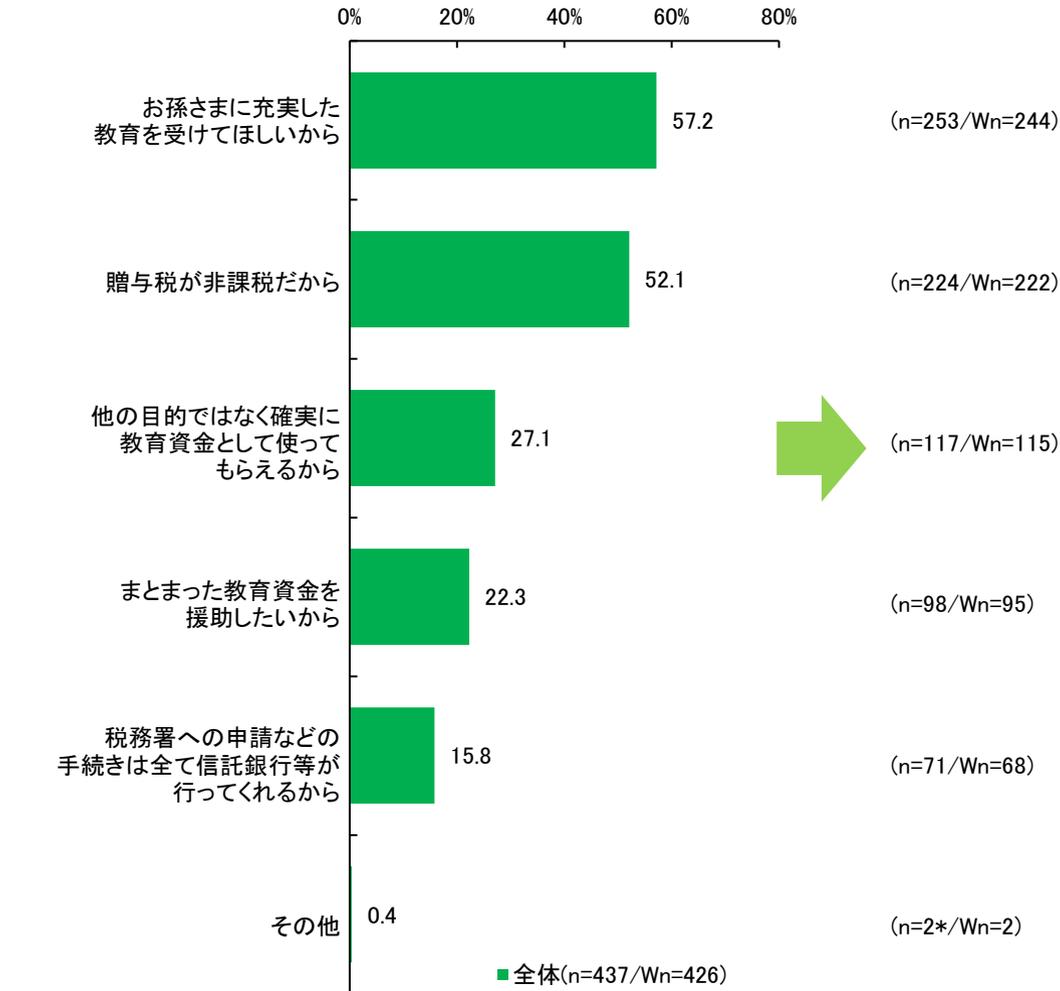
注: 名前は知っていたが、仕組みなど詳細までは知らなかった

3. 「教育資金贈与信託」の利用意向詳細

<サービスを利用したい理由>

(サービス利用意向ありの方)

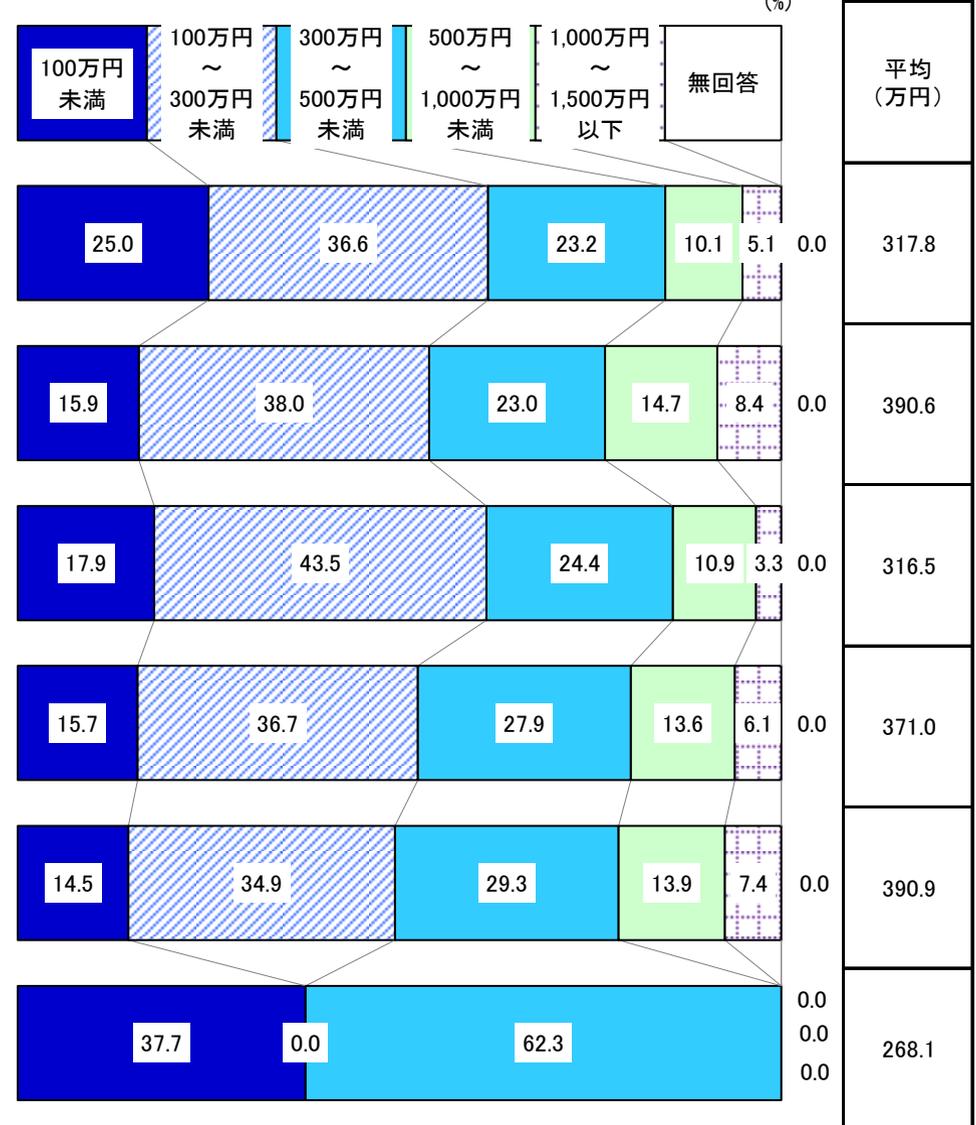
サービスを利用したい理由は「お孫さまに充実した教育を受けてほしいから」が最多で57%、続いて「贈与税が非課税だから」が52%。
サービス利用時の想定金額を理由別にみると、「贈与税が非課税だから」「税務署への手続きを信託銀行が行ってくれるから」を選んだ人の利用想定金額が大きくなっており、どちらも約390万円。



<サービス利用時の想定金額>

(サービス利用意向ありの方)

※サービスを利用したい理由別

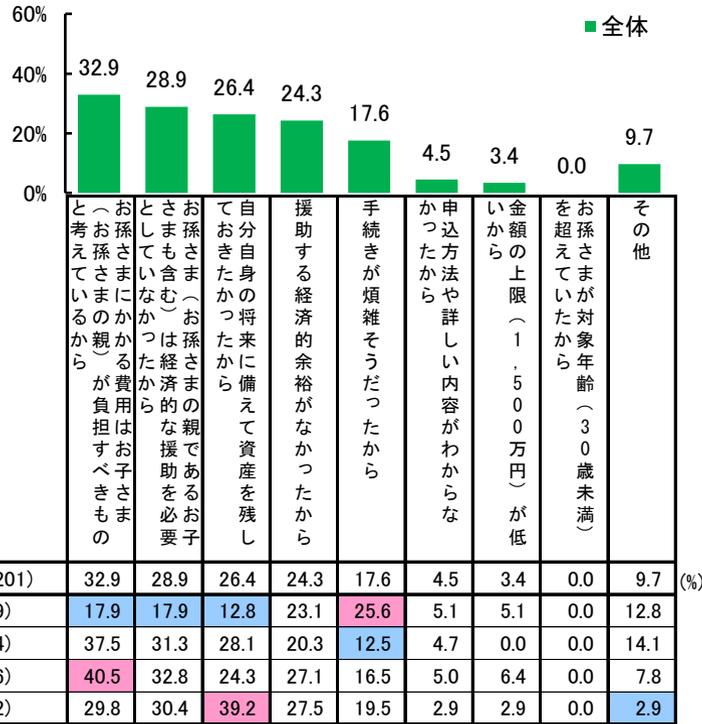


※回答者数は(ウェイトなし/ウェイトあり)、「*」はサンプル数が30未満のため参考値

4. 「教育資金贈与信託」の今後の利用意向

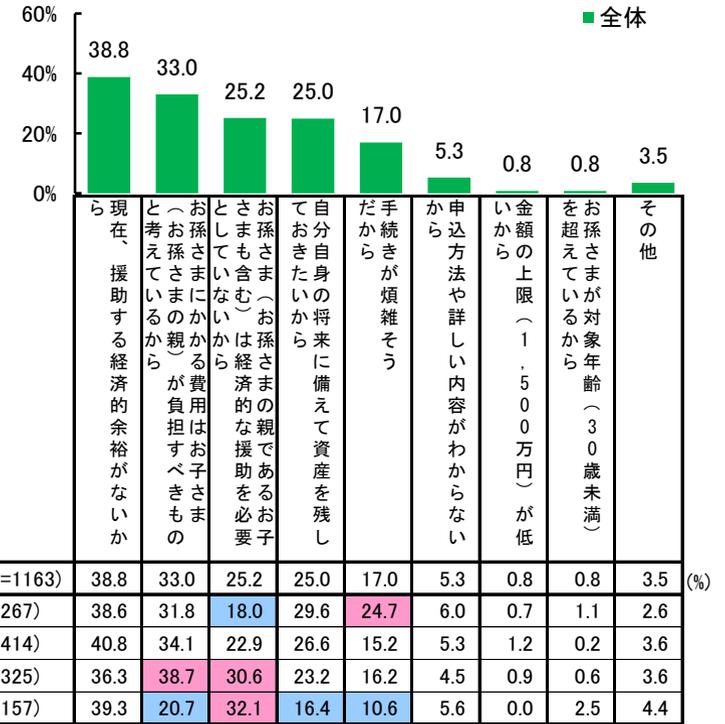
<サービスを利用しなかった理由>

(サービス詳細認知、利用経験なしの方)



<サービスを利用しようと思わない理由>

(サービス詳細非認知、サービス利用意向なしの方)

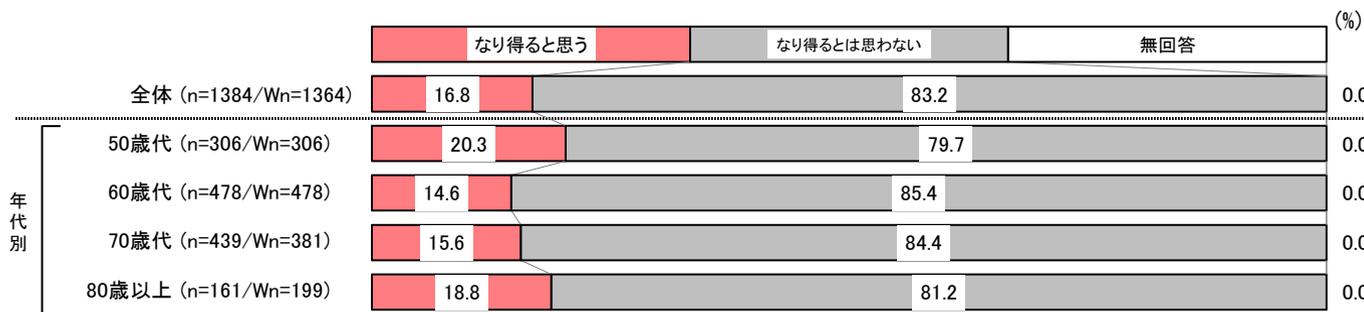


※ 〇は全体値+5p以上、△は全体値-5p以上

※ 〇は全体値+5p以上、△は全体値-5p以上

<ライフステージが変わった際の利用意向変容>

(サービス利用意向なしの方、サービス利用経験なしの方)



利用意向なしの理由として、「援助する経済的余裕がなかった(ない)から」と選んだ割合は約3割。

現在、利用意向なし・利用経験なしと回答した人のライフステージの変化がサービス利用のきっかけとなり得ると答えた人は、2割弱。年代別でみると50歳代が最多で、2割以上の人がきっかけとなり得ると回答している。

※回答者数は(ウェイトなし/ウェイトあり)、「*」はサンプル数が30未満のため参考値